２０１３年１０月３０日
イオン北海道株式会社

イオン札幌藻岩・札幌平岡チアーズクラブ　×　トップバリュ産地
エコ農業体験プロジェクト開催！

イオン北海道株式会社は、１１月２日（土）に白老町にて、イオン札幌藻岩・札幌平岡チアーズクラブ（小学生から加入できる環境学習クラブ）２３人が参加するイオンエコ農業体験プロジェクトを実施致しますのでご案内申し上げます。

昨年に引き続き、イオンチアーズクラブメンバーが財団法人日本きのこ研究所の認証を受けた、ＨＡＣＣＰ（※）システムの考えを取り入れたしいたけの栽培方法や管理体制を見学します。更に世界で初めてしいたけの人工栽培に成功した　農学博士　森喜作さん（昭和３６年小学校教材にされ、美味しんぼ　７４巻にも掲載されています。）の思いと行動を通し、しいたけの安定供給まで至った『しいたけの歴史』についても学んでいきます。また、しいたけの収穫や菌床製造工程の見学、包装作業などを通じて、地域の農業環境や歴史について理解を深めます。
今回は、『フォーレ白老』でお世話になり、トップバリュのしいたけができるまでの過程や菌床製造を学び、おいしくできる秘密も生産者に教えていただきます。

イオンでは地域の子供たちを集めて環境学習を実施するエコクラブ「イオンチアーズクラブ」を運営しています。エコ農園体験プロジェクトは、２０１２年よりスタートし、本年は安平町、倶知安町、芽室町での実施につづき４回目の実施となります。（２０１３年）。イオン北海道では、子ども・産地・イオン店舗・商品部門など、ステークホルダーをつなぐコミュニケーションの場として、また、子どもたちに食の大切さや生産現場での取り組みを学んでもらう機会として、このプロジェクトを推進してまいります。

イオン北海道は、これからも地域の子供たちやお客さまのために、「食」に関わる様々な情報提供や活動を積極的に進めてまいります。

※ＨＡＣＣＰとは食品の原料の入荷から製造・出荷の全ての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生館手法のことです。

記

【白老町エコ農業体験バスツアー　スケジュール】

１．日　　時：１１月２日（土）

８：３０　イオン札幌藻岩店　出発
９：００　イオン札幌平岡店　到着
　　イオン札幌平岡店　農産売場見学
９：３０　イオン札幌平岡店　出発
１０：５０　『フォーレ白老』　到着
　　しいたけのお話・施設見学
　　作業体験・収穫体験
　　記念撮影後　昼食

１４：００　『フォーレ白老』　出発（イベント終了）
２．体験学習地：有限会社『フォーレ白老』　北海道白老郡白老町竹浦６６４番地２
（トップバリュしいたけの育て方学習、観察・袋詰め・収穫体験）
３．参　加　者：合計　４０名（予定）
イオン札幌藻岩チアーズクラブ・イオン札幌平岡チアーズクラブ　２３名
チアーズクラブのご家族・コーディネーター　１７名
４．主　　催：イオン㈱、トップバリュ㈱、イオン北海道㈱
５．協　　力：有限会社『フォーレ白老』

【昨年の様子】

農産売場勉強会にて

フォーレ白老にて

＜ご参考までに＞

【しいたけの人工栽培について】
江戸時代の初め
九州地方で炭焼きの材料である木の炭材として並べてあったところにしいたけが生えていたことから人工栽培が始まる。しかし同時の人工栽培は、ならやクヌギの丸太の表皮に鉈で刻み芽を付け、数千本並べてほうっておく、菌が飛んでくるかわからない博打のような栽培方法であった。
１９３３年、当時、京都大学の学生だった　森喜作さんが農村経済の実態調査のため、阿蘇山の西ふもとにある山村を訪れたことから始まる。
当時一体の農家は田畑に乏しく、炭焼きやしいたけ栽培を副業とし、かろうじて生計を経てていた。１メートルほどの丸太棒が１万本近く並べられ、みすぼらしい身なりの農夫が丸太の前で手を合わせ、生きていくためにしいたけが生えるのを祈っていた。
何をしているのか　喜作さんが声をかけ、一帯の農夫の現状を知る。そこから森喜作さんのしいたけ人口栽培にかける情熱と苦労が始まる。そしてついに、種ゴマの発明から現在の安定供給に至る。

イオンチアーズクラブについて

子供の健全な育成を目的に活動している「イオンチアーズクラブ」は、イオンの店舗周辺で活動を行い、環境に興味を持ち、考える力を育てるとともに、集団行動を通じて社会的なルールやマナーを学んでいくクラブです。各店舗の従業員がサポーターとなり、周辺地域に住む小学生・中学生が環境について学び、様々なエコ活動を行っています。

【本件に関するお問い合わせ】
イオン北海道株式会社　広報部　　電話　０１１－８６５－９１１１